

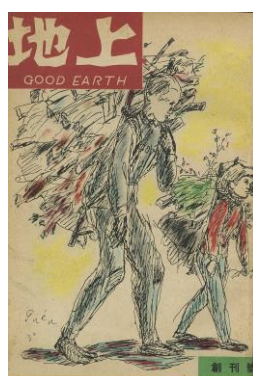
教育文化・家の光プランナー 制度について

「組合員との対話運動」を継続することにより、組合員との強固な関係を構築し、組合員の意思・ニーズを反映した事業・活動を展開することが求められています。組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立や組織基盤強化に向けて、JA教育文化活動を必須の取り組みとして位置付け、促進・活性化を図ることが重要となっています。JA教育文化活動は、教育・学習活動、情報・広報活動、生活文化活動、組合員組織の育成活動から成り、今日的な状況を踏まえると、JAにおいて総合的に展開できる体制づくりが急務となっています。

家の光協会では、魅力あるJA教育文化活動の企画立案・実践にあたって中心的な役割を果たすJA職員を支援するため、「教育文化・家の光プランナー」制度をすすめています。これは、「家の光事業を生かしたJA教育文化活動をより強化する」ことを主目的に、①JA教育文化活動に関する情報を定期的に提供する ②JA教育文化活動の知識とノウハウが身につく学習機会の提供に努める ことを主な内容とするものです。

JA自己改革の実現のため、教育文化活動がいっそう重要視されるなか、「教育文化・家の光プランナー」制度の趣旨をご理解いただき、JA事業・活動にお役立ていただけますようご案内申し上げます。

人・JA・地域が元気！

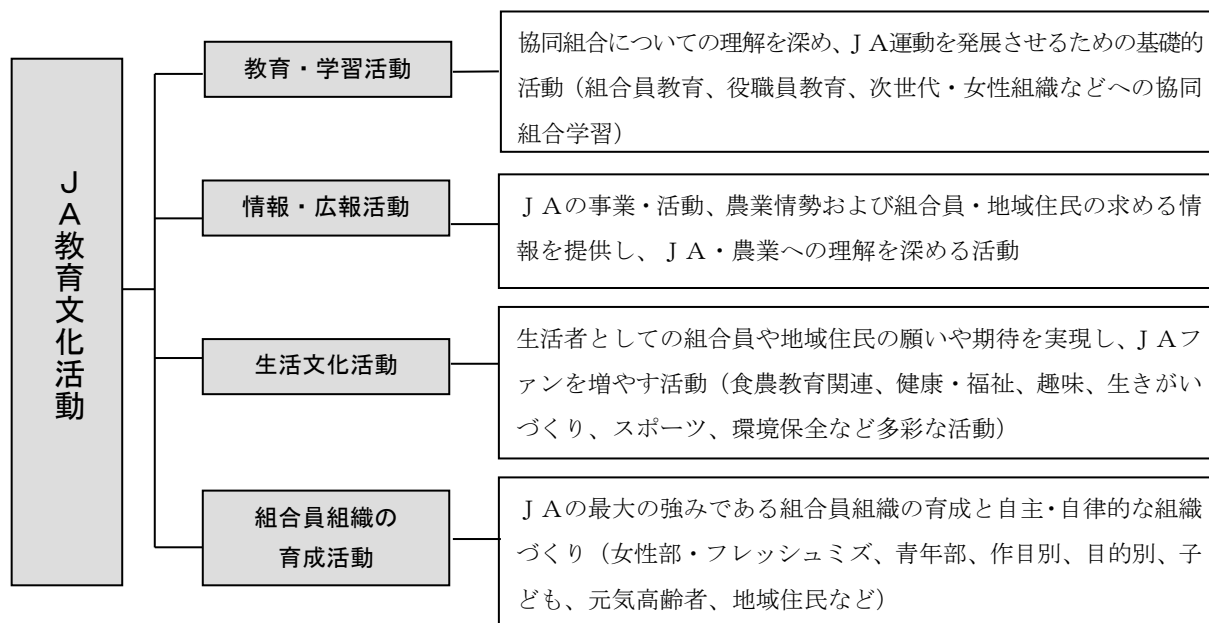


2023年度

一般社団法人 家の光協会

教育文化活動とは・・・

◆JA教育文化活動の4つの活動領域



◆JA組織・事業・活動に果たす教育文化活動の今日的役割

- ① 組合員（家族）と組合員（家族）を結ぶ横糸の役割
主役である組合員が「豊かな暮らし」を実現するために、仲間として心を寄せ合い、組合員の役割を認識し、協同活動を効果的にすすめることができる。
- ② JAと組合員（家族）、地域住民を結ぶ横糸の役割
「わたしたちのJA」という組合員意識を強めるとともに、組合員とその家族、地域住民がやってくる多様な居場所づくりを行い、JAファンを広げJAへの理解を深めることができる。
- ③ JAの事業と事業、事業と活動を結ぶ横糸の役割
JAの各種の事業や活動が相互に連携することで、新たな事業や活動が開発できるとともに、総合JAとしての強みを発揮することができる。
- ④ JAの地域貢献活動を促進する役割
地域になくってはならないJAとして社会的存在価値を高め、幅広いJAファンづくりを促進することができる。

疎遠になりつつある組合員とその家族、地域住民に対して「新しい強固な関係性」を築くために、教育文化活動はJA全体で取り組むべき「必須の活動」です。

教育文化・家の光プランナー制度

■名 称

「教育文化・家の光プランナー」

■目 的

組合員の参加・参画意識や協同意識を高めるための、魅力あるJA教育文化活動の企画を立案・実践するにあたり中心的な役割を担う人材の養成をすすめ、家の光事業を生かしたJA教育文化活動のいっそうの活性化を図ることを目的とする。

■対 象・人 数

JAの教育文化活動担当部署または総務企画担当部署、および家の光事業担当部署の部課長とし、1JA各部署より1名、計2名を原則とする。ただし、JAの意向を踏まえて部署や人数を決定するものとする。

■登録の手順

新規登録の場合は所定の推薦書書式を、引継ぎの場合は引継書書式を使用し、必要事項を記入のうえ、原則として都道府県JA中央会（県単一JAはJA本店）経由で家の光協会に提出する。推薦書書式・引継書書式は、家の光協会ウェブサイト「家の光ネット」
➔「JAのみなさまへ」➔「教育文化・家の光プランナー」よりダウンロードが可能。

■任 期

JAの教育文化活動活性化の中心的役割を果たすため、原則として役職の在任期間とする。退職や異動等による退任の際は、後任者に引き継ぐことを基本とする。

引き継ぎの際には、届出用紙（引継書）に記入のうえ、原則として都道府県JA中央会（県単一JAはJA本店）経由で家の光協会に提出する。

■めざしたい活動内容

- ① JA教育文化活動活性化計画の策定と体制づくり
- ② JA教育文化活動の活性化に資する各種研修の企画と実施
- ③ JA教育文化活動に生かす家の光事業の有効活用方策の立案と実践
- ④ 各種生活文化活動企画のコーディネート
- ⑤ 『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』『家の光図書』の普及・活用運動方策の策定と普及活用運動の実施

■家の光協会の主な支援内容

- 『JA教育文化Web』の発信等による、教育文化活動に関する情報提供
- 「教育文化・家の光プランナー専修講座」、「JA教育文化活動研究集会」への参加支援。